

国公立大学唯一の 言語聴覚士養成校

言語聴覚士(ST)は、小児から高齢者まで、コミュニケーションや食べるのが難しい人を支援する専門職(国家資格)です。



保健福祉学部 保健福祉学科
コミュニケーション
障害学コース

コミュニケーションと食べることの障害

ことば

- 気持ちや考えをことばで表現できない
- 相手の言っていることが理解できない
- ことばの発達の遅れ

声や発音

- 声がだしにくい、かすれる
- 発音がはっきりしない
- どもる

聞こえ

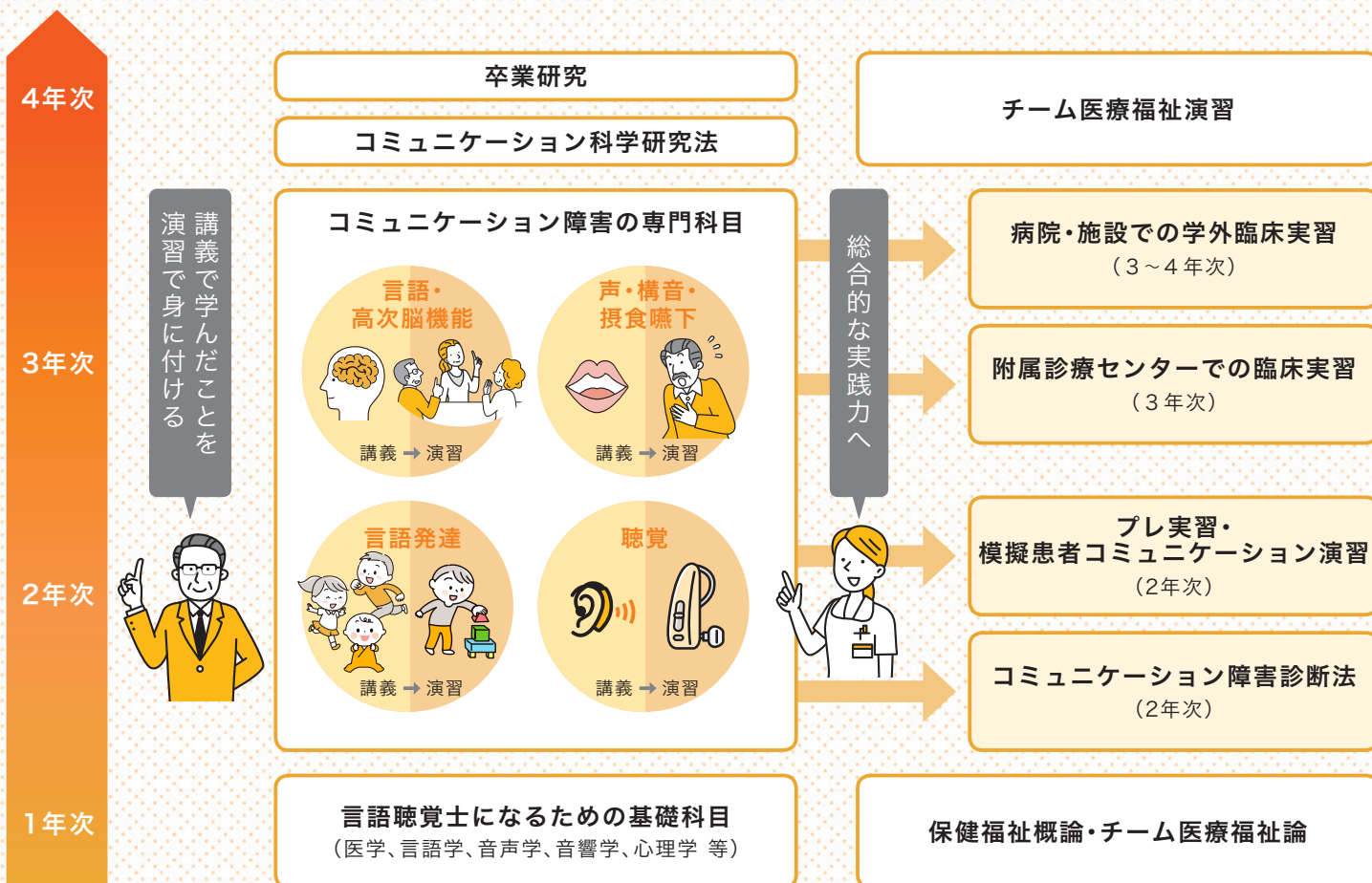
- ことばが聞き取りにくい
- 周囲の音が聞こえにくい

食べること

- 食べたり飲み込んだりする
とむせる
- うまく飲み込めない

コミュニケーション障害学コースではこんなことを学びます

言語聴覚士 国家試験受験資格 (Speech-Language-Hearing Therapist)



ことば・きこえ、食べることの仕組み、障害と支援の方法を基礎から体系的に学べる

コミュニケーション

せつしょく えんげ
摂食・嚥下



豊富な
学びの機会

- 知識・技能を学ぶ講義
- 患者さんに接する臨床実習
- 学生同士でおこなう検査の演習
- 研究能力を養う卒業研究 など

もっと
詳しく



特色ある授業・教育

4年次	<h3>卒業研究</h3> 	<h3>臨床実習Ⅲ</h3> <ul style="list-style-type: none"> 附属診療センター 診察見学 失語症友の会 集団訓練 学外実習 (4週間)
3年次	<h3>コミュニケーション科学研究法</h3> <p>言語聴覚療法分野における研究について学びます。 実際の研究過程（計画 → 調査・実験 → データ分析・考察 → 発表）を経験します。</p> 	<h3>臨床実習Ⅱ</h3>  <p>学内実習 → 附属診療センターで一定の経験を積んで → 学外実習 (8週間)</p>
2年次	<h3>コミュニケーション障害診断法</h3> <p>臨床場面の再現を観察して、対象者の方のコミュニケーション障害の種類の特異やタイプの分類をおこないます。 これまでの各専門領域の概論での学びを統合して活用する科目です。</p> 	<h3>臨床実習Ⅰ</h3> <ul style="list-style-type: none"> 言語聴覚療法見学 プレ実習 学外施設1日見学 血圧測定 車椅子操作 <p>模擬患者コミュニケーション演習 実際の患者さんに関わらせていただく前に、模擬患者さんとの面接を通して、自分のコミュニケーションについて、じっくりと考えることができます。</p>
1年次	<h3>コミュニケーション障害学概論・演習</h3> <ul style="list-style-type: none"> 保育所見学 特別支援学校見学 失語症のある方との交流会 聴覚障害のある方との交流会 	

コミュニケーション障害学コースについてのQ&A

Q 学生の出身地は？

A

広島県や中国・四国地方出身者も多いですが、全国さまざまな地域の出身者が入学しています。全国各地の出身者と友達になれてよかったという学生の声が多く聞かれます。

Q 学外臨床実習施設はどこにありますか？

A

学生の志望分野や出身地なども考慮しながら、意義のある実習になるよう、実習先の依頼や割り振りをしています。そのため、広島県内だけでなく全国のさまざまな施設での臨床実習の実績があります。まだ実習実績のない地域にも新規にお願いすることもあります。

Q チューター制度について教えてください。

A

チューター（クラス担任）は1学年学生29名に対し、教員2～3名で学生生活全般にわたってサポートしています。

これまでの相談内容は、初めてのひとり暮らしで戸惑う事、単位履修について、学修の進め方、実習で不安な事、国家試験対策、就職活動、卒業後について等、多様です。戸惑った時には、相談できる関係を目指しています。

Q 少人数臨床実習教育について教えてください。

A

学内でも臨床実習を実施しています。2名程度の学生に対し、言語聴覚士資格を持った教員1名が学内の附属診療センター内で指導しています。

この実習では講義を行っている教員から実際に対象者との関わり方、支援の進め方などを学べる実践的なものとなっています。





Q

学生生活はどうか？

授業



専門の授業では実際の検査道具を使うなど、臨床に近い学習もしています。また症例へのアプローチについて、自分たちで班を作り、意見を出し合い自主的に学び続けています。

実習

患者様とコミュニケーションを取れたり、臨床手続きの一連の流れを経験することができています。そのことで将来への期待が高まり、学習意欲も向上しています。

卒研

卒業論文を書くために、小学校など学外に出向いてデータ収集をしました。学外での経験も学びとなっています。



サークル活動

バドミントンと写真サークルに所属しています。運動系と文化系サークルを掛けもちして、楽しい大学生活を送っています。先輩・後輩のつながりも広がり、さらにリフレッシュにもなっています。



ひとり暮らし

ひとり暮らしの始めは学業と家事の両立に不安を感じていました。しかし学校近くに住むひとり暮らしの学生も多く、一緒に自炊をして楽しく家事をこなしています。また近隣にお店も充実しており、外食を利用して友達との交流を深めることができ、直ぐに生活に慣れることが出来ました。一緒に学び、生活面でも支え合える友達がいることで、充実した生活を送れています。





卒業後に向けての支援

国家試験

国家試験合格に向けて以下の支援をしています

- コースで作成した模擬試験の実施（年間12回）
- 個別票による模擬試験のフィードバック（個人の得意・苦手領域が分かる資料の返却）
- 自主グループ学習（国試班）のサポート
- 模擬試験の成績推移をチューターが把握し必要に応じて面談を実施
- 業者による模擬試験の実施（年間2回）

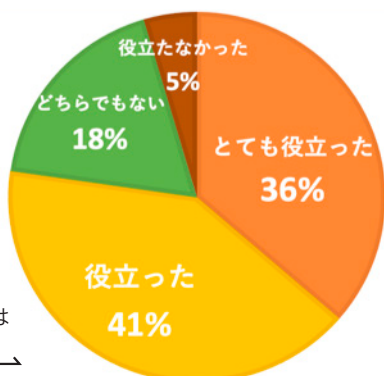
卒業生にききました

その1 自主グループ学習の効果は？

- 友達と教え合うことで理解が深まり、定着しやすい
- 1人での学習では漏れていたことを補うことができた
- 国家試験直前に励ましあうことで最後まで乗り切れた
- 決まった時間に集まることで試験に向けて生活リズムが整った



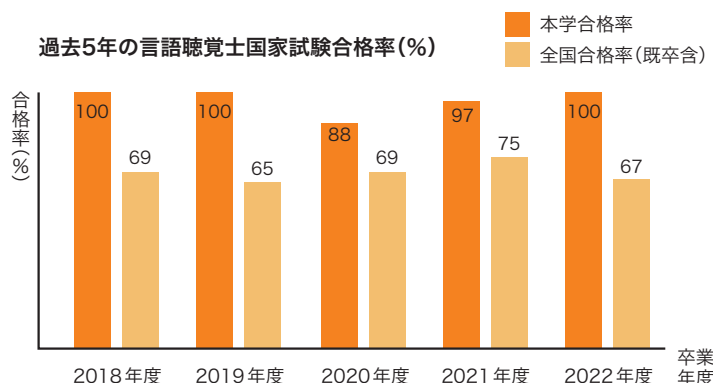
Q.
グループ学習(国試班)は
役立ちましたか？



その2 個別票による模擬試験のフィードバックはどうでしたか？

- 苦手領域が把握できたので重点的に学習できた
- 前回までの推移が分かるので学習の進捗状況を把握できた
- 優先して取り組むべき領域が分かるので計画的に学習ができた

過去5年の言語聴覚士国家試験合格率(%)



コミュニケーション障害学コースの就職支援

就職支援

- チューターとの個別面談の実施
- 卒業生による就職活動アドバイス
- コース独自で実施する採用予定施設による就職説明会
- 試験対策（面接・小論文の指導など）の実施
- 教学課主催の各種セミナー（履歴書・身嗜み、マナーなど） など

※面接・小論文指導などはキャリアセンターと連携して実施します。



就職活動の特徴は？

チューターだけでなく、教学課、キャリアセンター、卒研指導教員などが連携して就職支援を実施。就職率100%に留まらず、学生が希望する地域や分野での就職を果しています。ここ数年の実績では、多くの学生が**第一希望での内定**を得ています。

どのような進路がありますか？

病院などの医療機関、老人保健施設、障害児者リハビリテーションセンター、児童発達支援センター・通園施設、補聴器関連企業、関連分野の大学院進学 など

具体的には？



コミュニケーション障害学コース コース長メッセージ



坊岡峰子 教授

コミュニケーション障害学コースは国家資格である、〈言語聴覚士〉を養成するコースです。言語聴覚士は、新生児から高齢者までを対象に、日々私たちが当たり前におこなっている、コミュニケーションや食べることなどが、難しくなった方々を支援する専門職です。

本コースでは、言語聴覚士の資格をもつ10名以上の教員全員が、附属診療センターで言語聴覚療法を担当しています。そのため、3年次の学外実習に出るまでに、2年次には教員の診療場面を見学、3年次には1名の教員が2名程度の学生を担当し、実際に患者さんに検査や訓練などを実施させて頂く実践的な実習をしています。

また、各学年に2名以上のチューターがつき、4年間を通して学習や生活・心理面などの確認や相談に応じるなど、きめ細かい対応をしています。また卒業研究の各ゼミは少人数制で、卒業後も見据えた研究力をつけることができるよう指導しています。

このように、国公立唯一の大学において臨床経験豊かな教員の元で、臨床力と研究力を身につけて、言語聴覚士界をリードする将来を目指しませんか？

先輩にききました!

～コミュニケーション障害学コースを選んだ理由～

当事者との交流

全国からの入学者

幅広い教養科目

地域とのつながり

国家試験合格率が高い

高い就職率


チーム医療を学べる

少人数教育

言語聴覚士になりたい


附属診療センター





言語聴覚士はどんなしごと?

1分でわかる「言語聴覚士」のしごと
言語聴覚士について知ってもらうために
コース教員が独自サイトを作りました。



コミュニケーション障害学コースについて

■ 県立広島大学 コミュニケーション障害学コース 公式ホームページ

コミュニケーション障害学コースの活動、学生生活や授業・実習の様子などについて、紹介しています。



入試情報

■ コミュニケーション障害学コースの募集人員内訳

入学定員 30人	一般選抜			特別選抜		社会人
	前期日程		後期日程	高等学校等推薦		
	15人	コース選択 枠あり (注1)		3人	県内	
				7人(注2)	2人(注2)	2人

注1:「コース選択枠」は、保健福祉学科共通で募集人員6人 注2:1学校当たり2人まで



言語聴覚士について

■ 一社)日本言語聴覚士協会のホームページ <https://www.japanslht.or.jp/>

日本言語聴覚士協会は、言語聴覚士の職能団体です。
このホームページの「言語聴覚士を目指す」に資格についての説明や
仕事の内容の情報があります。



■ 「目指せ!ST(言語聴覚士)」のサイト <https://mezase-st.com/>

このサイトは、日本言語聴覚士協会が監修・運営している
言語聴覚士を目指したい方への情報サイトです。
「言語聴覚士インタビュー」など言語聴覚士の仕事を
よりイメージしやすい構成になっています。



県立広島大学 三原キャンパス

〒723-0053 広島県三原市学園町1番1号
TEL. 0848-60-1120(代)

詳細な情報は、
大学ホームページに掲載しています。
<https://www.pu-hiroshima.ac.jp/>

